TGA オフで行われたクイズの一部解説です。

【2】
(1)左からヘイガニ、ホーホー、ハリテヤマ

(2)左からリーフィア、グレイシア、シャワーズ

(3)
・ガブリアス:コバルオンが特殊状態ではないため「ダブルひこう」によりコバルオンを気絶させながらゴールを塞ぎ次ターンの負けを回避するというのは不可能。
・バシャーモ:「ジェットキック」でコバルオンを気絶させることは特性「アイアンハート」により不可能。
・ジガルデ:ゴールを包囲しているライコウ、コバルオンには紫技がないため「グランドフォース」で打開することは不可能。
・ミュウツー:コバルオンに「サイキックブロー」を決めれば次ターンの負けを回避することが可能、と思いきやライコウは特性「ノンストップ」によりウェイトにならず、
またウェイト状態のコバルオンをすり抜けてゴールすることが可能です。
・ゴチルゼル:ゴースに「グランドクロス」を決めてもカビゴンの特性「うごかない」によりカビゴンと入れ替わることができず、やはり次ターンの負けを回避できません。
・バンギラス:「じしん」によってライコウとコバルオンを気絶させることはできるがエントリー上のニョロモはミス 0 なので 100%生き残り、次ターンゴールされてしまいます。

(4)
クリムガンの「リベンジ」の元のダメージ値が 70
PC にコマが 2 体いるため+40
毒状態で-20
クロバットの特性「かくさんポイズン」でさらに-20（クリムガンの「かたやぶり」はクロバットの「かくさんポイズン」を無効にできません）
タブンネの特性「おてつだい」により+30
メガリザードン X の特性「煉獄の階梯」により+10
バチュルの特性「きゅうでん」により+1
これで、70+40-20-20+30+10+1=111
（レントラーの特性「がんこう」の対象は相手のみなのでクリムガンに影響ありません）

【5】
(1)
ディアルガの「ときのほうこう」の効果によってゴンベの「プレートを食べた履歴」のみが消去され、「ダブルチャンス」は戻りません。

(2)
ビリジオンといえば「タイフーンスラッシュ」というイメージが強いですが実は「せいぎのつるぎ」の方が幅が広く、0 チェインサンダーはビリジオンが「せいぎのつるぎ」を出した場合倒せません。
ですので、「ダブルチャンス」、「ひかりのこな」を使う場合はファイヤーのほうがサンダーよりもビリジオンを倒す確率が高いというのは計算せずともわかります。
次に、ファイヤーとビリジオンの白ワザの幅を考えると「ダブルチャンス」が最も気絶させる確率が高いとわかります。
ミュウに関してですがビリジオンが「せいぎのつるぎ」を出すと絶対に勝てないというのもあり「ひかりのこな」を使うのが最も勝率が高いです。
よって、サンダーの「プラスパワー」とファイヤーの「ダブルチャンス」とミュウの「ひかりのこな」の勝率をそれぞれ計算すれば答えが導かれます。